

中郷区

地域協議会だより

第56号(令和3年度第2号)

発行日：令和3年12月25日
発行：中郷区地域協議会
編集：地域協議会だより
編集委員会
(中郷区総合事務所)
TEL：0255-74-2411

地域協議会の活動内容は、上越市ホームページで閲覧できます。
URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/nakago-ku/jitiku-13area-nakago.html>

視察研修について

11月9日に、昨年に引き続き「改めて地元を見直す」という観点から、市内及び区内の施設で視察研修を行いました。

《陸上自衛隊高田駐屯地の視察について》

関山演習場が中郷区内に設置されていることから、「なかごう夏まつり」での音楽隊出演を始め、当区と自衛隊は旧来より親交を深めております。

今回の研修は、自衛隊の活動をより理解するため「陸上自衛隊高田駐屯地」にて視察研修を行いました。

講話では、明治41年に旧陸軍第13師団が開設されてからの歴史や、自衛隊の役割、安全保障について、丁寧に説明していただきました。中でも、凄まじいスピードで進化するサイバー・デジタル領域における作戦部隊の対応は、現代ならではの重要事項であると感じました。また近年、頻発している地震・豪雨・大雪等の大規模災害への派遣活動について現地の活動状況を教えていただきました。隊員の皆さんは災害現場の過酷な状況の中、人命・財産保護に、使命を持って活動しているということでした。我々自身も日頃から災害への備えが大切であると改めて感じました。



施設見学では駐屯地内で日夜訓練する施設や食堂、売店などを見学させていただきました。売店では自衛隊カレーなどのお土産品の他、隊員の為の日用生活品も揃えられていました。また駐屯地内には多様な機動戦闘車両が並んでいましたが、この車両の整備は隊員が整備資格を取得し、駐屯地内の施設で整備しているということに感嘆しました。

研修を終えて、自衛隊の皆さんは日々、国民の為に活動・訓練を続けていることを改めて実感しました。オスプレイ等の問題を取り沙汰される事もありますが、中郷区としてはこれからも密な連携を取り合い適切な友好関係を構築していくことも大切であると感じました。

《中郷小学校通学路の積雪時危険箇所の視察について ～通学路に潜む危険～》

今回、地域協議会の視察で通学路の危険箇所を歩いてみました。私自身が今春から運営している「中郷区さとまる学校」の活動の中で、春のフィールドワークの際に通学路の危険箇所を抽出し、それを地域の課題としてできるだけ迅速に対処することを活動の目的としているため、地域協議会でもその課題に寄り添うことが大切だと思い実施させていただきました。

車社会の日常で歩くことが少なくなった今、改めて子供たちが日々通う学校への通学路に自分の足を向けた瞬間、そこに潜む危険に心が痛みました。おそらく、子供たちの目線にはさほど感じていないのですが、大人目線のリスクアセスメントの必要性を改めて感じると同時に地域の課題としても改善策を施すことが重要だと思いました。今も時折目にする子供たちの下校風景は、少子化の影響もあり、スクールバスに乗らない子は一人、二人と少人数で冬道の環境の悪い場所を歩いて通います。それも、子供達では認知出来ない危険が潜む場所とは裏腹に楽しそうに元気に通っています。我々、地域の大人がそのことに強い視線を向け、見守る思考を加算するとともに協議会としても机上議論から実際の解決策に向けて踏み出すことが重要だと改めて感じた視察研修となりました。



(竹内靖彦会長)

《裏面もご覧ください》

新たな自主的審議事項について

中郷区の地域協議会において、長期にわたり勝馬基金の活用に伴う自主的審議事項として審議してきた事業が実施の見込みとなりましたので、次なる新たな自主的審議事項について協議を行うことと致しました。8月11日の地域協議会において、市より上越市過疎地域持続的発展計画（案）についての「諮問」があり、9月8日付けで附帯意見を加え概ね賛同出来る旨の「答申」を致しました。中郷区地域協議会ではその上越市過疎地域持続的発展計画を踏まえ、今後の自主的審議事項について検討していきたいと考えております。現在のスケジュール案及び自主的審議事項の一例については下記のとおりです。（現在、協議中で今後皆さんとの意見交換等を行い、進めて参りますので、確定したものではありません）

スケジュール案	10月～12月	自主的審議事項の絞り込み
R4	1月～2月	自主的審議事項の選考、確定
〃	3月 上旬	活動報告会での意見交換会
〃	3月 下旬	3月の地域協議会でテーマを決定
〃	4月 以降	勉強会及び意見交換会等を実施



自主的審議事項の一例

【担い手対策】 少子高齢化や若者等の流出により今後の農業や商工業等の後継者不足が進み、住民活動の担い手不足にも繋がる。地元ふるさとの魅力があるにもかかわらずアピール不足により知名度が低い現状にある。若者世代に中郷区の魅力を感じてもらい、住みたい、働きたいと思ってもらえるように、住民、企業、行政等の協働により、Uターン等の促進に結び付ける。

【空き家対策】 中郷区には現在、多数の空き家がある。中には崩壊寸前の空き家もあり、早急な対策が必要となっている。一方、利活用出来る家屋等も数多くあるが、積極的に活用していない状況にある。危険な空き家については、管理者等による撤去又は改修等による安全確保を行うとともに、活用できる家屋については空き家バンク制度等の充実を図り、利活用に向けたPR等も行い関係人口の確保を図っていく。

【公共交通対策】 乗合タクシーについては、利用しづらい環境やコロナ禍の影響等もあり利用者が減少している状況にあり、存続が問われている。通院及び買い物弱者の対応等が必要であり、現行制度の改善はもとより、コミュニティバス制度構築に向けた検討が必要である。

以上、一例を紹介しましたが、関連して雪に負けない暮らしのアピールや安心して子育てできる環境づくり、地域の農家を守る仕組み作りなども考えられるので、引き続き協議を重ねてまいりたいと考えております。

区民の皆様のご意見やご協力もお願いしながら進めていきたいと思っております。

編集後記

11月9日に「陸上自衛隊高田駐屯地」を視察させていただきました。

区内には、関山演習場が有りますので、自衛隊は中郷区民にとって、身近な存在でもあります。しかし、高田駐屯地はどんな様子なのか？ 知らない事ばかりでしたが、今回の訪問により、国の防衛ばかりでなく、今年1月の上越市内大雪除雪支援、コロナ対策へのかかわりあいなど、国内の災害の支援応援活動などを解説していただきました。その後、通学路積雪時危険箇所の日曹入口から坂本歩道橋まで歩いてみて、この冬、徒歩通学に注意を促すことを決意した一日でした。

令和3年もあとわずか、今年も大雪の予報が流れています、皆様お体に気を付けてお過ごしください。地域協議会では皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。

編集委員 高橋達也 松原 功 村越勝彦



地域協議会はどなたでも傍聴出来ます。地域協議会の日時、会場などは中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ ☎74-2411 地域振興班までお問い合わせください。